

—患者様へのせき損広報誌—

# はなみずき



## ♣トピックス♣

▶患者さんからの投稿

「No limit」

▶入院棟1

～脊髄損傷者と体温調節について～

▶理学療法部門紹介

～下肢装具について～

▶医用工学研究室だより

～スライディングボード「つばさ」が

「福祉用具・介助ロボットの開発と普及 2020」に掲載！～

※今月寄稿していただいた  
戸石 薫さんがパラグライダー飛行した時の写真です。

# 「No limit」

戸石 薫

初めまして戸石 薫と申します。僕は、頸椎損傷 C5C6レベルの車椅子ユーザーです。

皆さん、これからお話する事は真実です。

真実ですが、、少しだけぶっ飛んでます。

でも、こんな想像できない未来もあるから、生きる事は相応に素晴らしいのだと思います。

僕は現在30才です。

事故にあったのは21才の時、当時、社会福祉を学ぶ大学生でしたが、浅草の人力車やテーマパークでお化け等、多い時で週に8回のアルバイトをして夢の為に3年間以上貯金をしていました。

お金が貯まった僕は大学3年の時に、とうとう夢に全財産をつぎ込むのです！

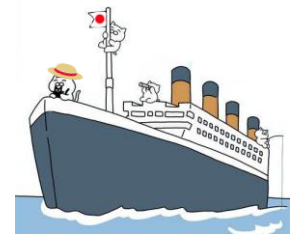
その夢とは、、

「世界一周!!!」客船で三ヶ月以上の旅です。



僕はどうしても20年間で固まってしまった自分の中にある差別や偏見を、世界を旅する事でクリアにしたかったのです。

船に乗った時の気分はまるで海賊漫画の主人公のようでした。



旅をして僕は思う、何日進んでも、見渡す限り広がり続ける海の大きさと世界の広さを想像できただろうか？ 経済的に貧しい人達の、心の豊かさを教科書は教えてくれただろうか？ 姿や文化や言葉が違っても友達になれると何故今まで気付かなかったのだろうか？

そんな経験をしている冒険のさなか。

僕は船内のプールサイドで足を滑らし、水の張っていないプールの底へ落下、首の骨を折り、僕は頸椎を損傷したのです。

……。

ふうー、ここからが、いよいよ本編ですね！

僕はその後サウジアラビアの病院で Dr.ワイルドに手術してもらいます。

僕の命の恩人は、名前とは裏腹に色白の優しそうなおじいちゃんでした。



海外式のめっちゃイカツイ、首のコルセットをつけられた僕は、文字どおり手も足も出せない状況の中、サウジアラビアの病院で食事の時間に毎回、看護師さんに得体の知れない緑色のドロドロしたスープを口に入れられてはギャーギャーと騒ぐのです。

めでたし、めでたし。



いや、終わるかい！ 誤解が生まれるので言っときますが、僕が寝ようとしてるのに自分が歌ってるロックでパンクな動画を見せてきた彼女にはとてもとても感謝しています。ええ本当です。

その後なんやかんやあってベッドに乗ったままのスタイルで、2回飛行機を乗り継ぎ20時間以上かけて日本に戻り、東京の病院を3週間経て福岡のせき損センターを紹介してもらいました。

せき損センターは約1年半いましたが、多分今後どんなに人生を振り返っても、あの時ほど頑張って、辛くて、前を向いた日々はないんじゃないかなと思います。

せき損センターのドクターや看護師さんやOT、PTの先生方、スタッフの方々には感謝してもしきれないです。あっ広報誌だから大袈裟に言ってるわけじゃないですよ。

でも本当に頑張ったんですよ。毎日毎日、自分と沢山向き合ってるリハビリは痛いですがキツいですよね。でもリハビリの先生と一緒に頑張る患者さんや看護師さんと話してるとその日一日は、頑張れたんですよ。「たった一日を超頑張る！」を500日繰り返した期間でした。

あの時は気づきませんでした。せき損センターに入院して、徹底的にリハビリに費やした時間は、機能の回復だけでなく、その後の僕の人生に多大な恩恵をもたらすのでした。

せき損センターを出た後は大分県の別府重度障害者センターに2年間いました。

そこでも筋力トレーニングはもちろん、絵やパソコン、アーチェリー、バスケットボール、ポッチャ等、数多くの事に取り組みました。その後、埼玉県国立職業リハビリテーションセンターに入り1年間Webデザイナーの勉強をします。

そして、何と！！東京に戻り、僕は、日本マイクロソフトの本社で働くことになります。

障害者雇用なので普通に入るよりはハードルは低めですが、ミーハーな僕は、「毎日品川まで電車で通勤し、30階以上あるピカピカのビルに、カードでピッてして入ってる俺かっけーな」とか思っていたとかいないとか。

マイクロソフトでは定期的に特別支援学校さんに出向いてWordやExcelを教える仕事を主にしていました。

マイクロソフトは2年契約で入社したので契約が満了したら、続ける手続きは取らずに僕は一つの決心をしたのでした。

それは、一人でアメリカに留学することです！！

同じ頸損の方なら、この行動の無謀さがわかるんじゃないでしょうか？



えっトイレはどうするの！？ 移動や移乗はどうするの！？ 寝るとき褥瘡大丈夫！？ 買い物は！？言葉は！？

まあまあ落ち着いて下さい。大丈夫です、僕は生きてますから。

まず日本にいる時に、過去に車椅子の方を受け入れた事があり、介護ができる方がいるホームステイ先を見つけました。その近くに語学学校もあるという事でそこに決めました。

8か月ぐらいかけて慎重に自分の身体の事や何が必要か料金の事などをメールで何度も確認や交渉をしました。

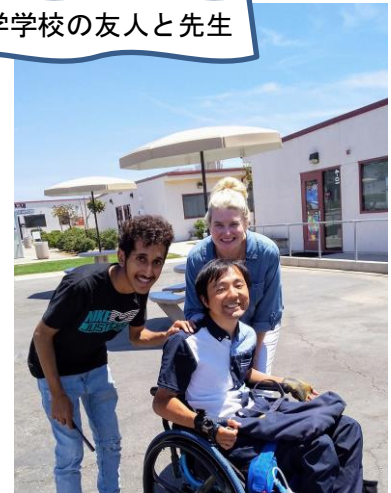
なので、着いた後は、一度だけトイレを失敗し迷惑をかけた事を除けば大方上手くいったと思います。料理やヘルプをして頂いたホームステイ先の方には本当に感謝しています。

ただコストは、その分掛かってしまいますので、2年間の貯金を全部使っても2か月半しか滞在出来なかったです。



メキシコに長距離列車で一緒だったおばあちゃん

語学学校の友人と先生



アメリカでの移動は基本的には僕一人です。自宅の前には、いきなり結構な坂道があるので、手動の車椅子ではそれだけで毎日神経と体力を使う挑戦でした。

初めは自宅から一番近いモールに行くのも一苦労だったのですが、一ヶ月がすぎると、一人でバスや長距離列車、路面電車を乗り継ぎ、国境を越えてメキシコに行くのですから、人間とは恐ろしいです。

ちなみに僕は自走だと、人が歩くのよりも少し遅い速度しかだせないで、アメリカでは本当に多くの方に声をかけてもらい車椅子を押してもらいました。

「I will never forget your kindness！」僕はあなた方の親切を決して忘れません。

中には、僕と一緒にバスをおりてくれて自分の荷物を道にほうり投げてまで僕を目的地まで運んでくれたおじいちゃんがいったり、踊りながら僕を担いで車に乗せてくれる方もいました。

なかでも一番の経験は、アメリカ人の車椅子ユーザーでも前例のない空のアクティビティに挑戦したことです。

バイクとパラグライダーが合体したその乗り物は、バイクで滑走路を走り空へと飛び立ちます。

写真をみればわかると思いますが、窓もなく体もむき出しです。

ネットで見つけた時は、体幹のない僕にはとても恐いけど・・・、やりたすぎるっと思いました。

思いのほか、自分の身体の事を伝えると交渉は難航しメールや電話のやり取りで3回は断られたのですが、見学だけはさせてくれと言って現地に向かいました。

現地に行くとは以外にも歓迎ムードでした。



彼らは僕の為に、特別にシートベルトを2倍にしてくれたり、座席の調整をしてくれて安全なフライトになるよう工夫してくれました。

いざ出発の瞬間になり、当日の料金の事をパイロットに聞くと、「お金はお前が生きてたらもうよ」と言われたので内心彼らも前例のない挑戦にビクビクしてたのかと思います。

僕も現地までの移動中に仲良くなってついて来てくれた友達に、「パラグライダーで死ぬなら海に落ちてクジラが見たい。」と真顔で話していたので僕も当然ビクビクしていました。

全速力で滑走路を走るバイク、ふぁっとバイクが浮いた時、僕は思いました。

「イエーイ、もうこのまま天国まで行ってやるぜー！」。



結果から言うと、最高の経験でした。

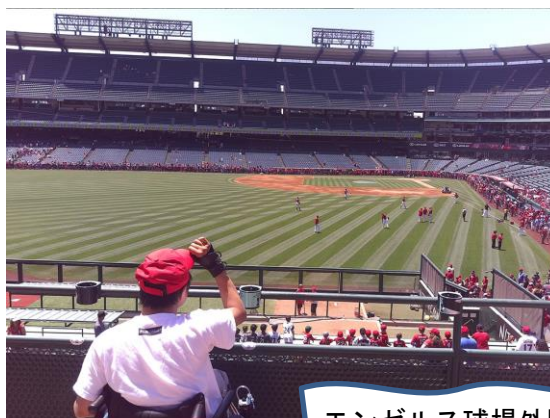
筋斗雲に乗る孫悟空のような感じで、雲を超えた青空の中を、キラキラ光る海の上を、スイスイと飛び回りました。

無事に下りた後、彼らは「君を乗せることが出来たのは、私たちの仕事の最も誇らしい瞬間だよ。」と言われたので、僕はお礼を言い、日本から友達を連れてまた来ようと思いました。

エンゼルス球場入口



エンゼルス球場外野席





グリフィス展望台

そんなアメリカの旅を終え、今は就労移行支援事業所の支援員として、様々な障害のある方達に IT トレーニングの講師をしたり、就職活動のお手伝いをする仕事をしています。

そしてこの記事を書いている4か月後僕は、デンマークに留学しノーマライゼーションを体感してこようと思います。

僕は障害があってもなくても人生が変わる事のない世界にしたいと思っています。

怪我や病気が理由で住む場所や仕事や人間関係が変わり、辛い思いをする人。

生まれながらに選択肢がなく苦しむ人。僕は自分を含めて、そういう方たちを沢山見てきたんで。

帰国後にはデンマークやアメリカ、今までの経験を通して、人生最大のプロジェクトを計画しています。

今これを読まれてる方にとっては、きっとワクワクする体験が出来る事と思いますよ。

初めましてかもしれませんが、またお会いしましょう！！

では良い一日を。



ニューポートビーチ

# 脊髄損傷者と体温調節について

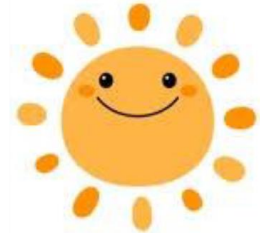
入院棟1 看護師長補佐 藤川佐知子



梅雨と同時に暑い季節がやってきました。

脊髄を損傷した患者さんは、体温調節がうまくできず暑い環境の中では、うつ熱といって熱が体の中にこもってしまい体温が上昇します。

すでに暑い日々が続いていますが、この季節に気をつけたいうつ熱とその予防について説明したいと思います。



## 体温調節と体温調節障害

通常では温度変化を感じたら脳にある視床下部から体温を調節するメッセージが自律神経を通して伝達され、暑い時には、血管を広げ、汗をかく事で熱の放散により体温を下げようとします。寒い時には皮膚の血管を縮める事で熱の放散を抑え、筋肉を振るわせて熱を作り出し体温を上げます。これらのように体温調節は自律神経の働きによって自動的に行われ、一定の温度を保つように調節されています。

一方、脊髄損傷者では暑い、冷たいと感じる感覚神経が損傷している事や自律神経の働きが弱っている事で、自律性体温調節が行えない状態になっています。その為、暑いときは熱がこもりやすく、寒い時は熱が逃げるのを防ぐことができないのです。これを一般的に体温調節障害と呼びます。

## うつ熱

頸髄損傷者や高位胸髄損傷者の場合は、自律神経障害のため、麻痺部分の皮膚の血流障害（皮膚周囲の温度を調節できない）と発汗調節障害（汗がかけないこと。27%が汗による熱の放散によって行われている）が起こります。麻痺部分の汗が出ないために体の熱が放出されなくなり、体内に熱がこもります。これを「うつ熱」と言います。ひどい場合は熱中症の状態になります。症状は37~38℃の熱、ふらつき、体のだるさ、吐き気、頭痛、虚脱感、失神、嘔吐などです。また、寒い日は皮膚の血流が悪いため、反対に熱が上がりにくくなります。症状は、めまい、ふらつき、吐き気、頭痛、ふるえ、意識障害が起こることもあります。自覚症状が無い場合もあります。





## 脊髄損傷者ができる体温調節の方法と注意点

- ② 温度の変化に影響されやすいことを自覚して過ごしましょう。
- ② 暑い日の屋外では、涼しい所や日陰で過ごすようにしましょう。
- ③ 室内では冷房器具を使用して熱がこもらないようにしましょう。
- ④ 霧吹きなどで濡らして風をあてると汗の代わりに冷やしてくれます。冷たいタオルを首に巻くなども効果があります。
- ⑤ アイスノンなどで首や腋の下など太い動脈の通っている部分を冷やしましょう。



今は便利なグッズがたくさんありますね。

- ⑥ 水分を十分とりましょう。

(適度に塩分が入ったもの、スポーツ飲料は約半分に薄めるとカロリーが少なくてよい)

急激に冷たい物を飲む事で胃腸への不快感や排尿への影響、大量に摂取すれば膀胱を圧迫し自律神経過反射を招く可能性もあります。

また、新型コロナウイルス感染予防のため、マスクをつけて過ごす機会が増えています。マスク着用中は喉の渇きを感じにくいと言われていいますので、脱水予防のため定期的に適度な水分補給ができるよう心がけましょう。



# か し そ う く 下肢装具について

総合せき損センター 中央リハビリテーション部  
理学療法士 松下 航大



病気や怪我などにより足、腰や首など体の部位に、痛み、損傷、麻痺などが生じたときに、治療や症状の軽減を目的として装着する器具を総称して「装具」といいます。今回は、当院で使用される歩行を補助する装具についてご紹介します。

## ●短下肢装具

当院には、腰・首の神経症状きたす方が多く来院されます。背骨の変形や骨折など様々な原因によって、足首を反らす力が弱くなる、ふくらはぎの筋肉がつっぱりつま先が上げづらくなるなどの症状がみられます。これらの症状により安全な歩行が困難な場合には、短下肢装具で足首を持ち上げた状態へ矯正し、つまづきを防ぐ必要があります。当院では主に以下のような短下肢装具を使用しています。



### それぞれの特徴

- 3つのうち最も安価
- 洗濯可能
- 取り扱いが容易
- 矯正力が弱い

- 高価
- 靴の下に履ける
- ベルクロは1か所比較的容易に装着
- 足を外側から持ち上げてくれる

- 3つのうち最も高価
- 樹脂部分が多く丈夫
- ベルトが多く煩雑
- 靴によっては履きづらい

## ●長下肢装具(内側股継手付き)

歩行する際は一方の脚で体重を支え、もう一方の脚を前方へ出す、という動作が必要になります。

しかしながら、脊髄損傷などで運動機能の麻痺が生じてしまった場合、これらの動作を自力で行うことは困難になります。

この装具を用いた歩行では、長下肢装具が体重を支える能力を、内側股継手が脚を前方へ出す能力をサポートします。

装具を装着した状態で体重を片足へ移動すると、体重のかからないもう一方の足が慣性力によって前へ振り出されます。



## ウーパル ●WPAL(歩行補助ロボット)



当院では歩行補助ロボット WPAL(Wearable Power-Assist Locomotor)を導入した歩行練習を行っています。内側股継手付き長下肢装具が慣性力を利用しているのに対して、こちらはモーター制御により下肢の動きを補助する歩行補助装具です。

当院では内側股継手付き長下肢装具の歩行に習熟した方に協力していただき、WPALでの歩行練習の効用を検証する取り組みもすすめています。



医用工学研究室 片本隆二

## スライディングボード「つばさ」が「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2020」に掲載！

### せき損式スライディングボード「つばさ」

医用工学研究室は昭和54年の開設にあたり、工学的支援を独自で行うことを目的に誕生しました。その活動のひとつに、新たな福祉機器の開発があります。商品化することで、より多くの方に継続して使っていただけることを目指して日々、取り組んでおります。

みなさまのご協力を得ながら、医用工学研究室で開発したスライディングボード「つばさ」は、2020年に商品化に成功し、現在株式会社ジェラートアイランドから発売されております。

- 車いすとベッド間の移乗に使用するボードです。
- 他社にない持ちやすく差し込み易くて使い易い形状をした商品です。自立と介助者の腰痛対策にも有効です。

### 介護ロボット等モニター調査事業に採択

公益財団法人テクノエイド協会の福祉用具・介護ロボット実用化支援事業(令和2年度)、介護ロボット等モニター調査事業の対象機器に、スライディングボード「つばさ」が2020年9月に採択され、開発者として高齢者施設を対象とした調査に協力しました。

介護ロボット等モニター調査事業は、開発中又は上市して間もない(1年以内)介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うことを目的としております。

以下は、モニター調査協力施設からのフィードバックです。

当院では、職員の介護負担軽減と腰痛改善の為に3か月毎に介護職員を対象として「腰痛に関するアンケート」と実施しております。その中で、「移乗介助時」に特に負担を感じているという結果が出ておりました。

今回、モニター調査に参加させていただいた、スライディングボード「つばさ」は、差し込みやすく抜き易いことを実感できる形状であり、その形状から自操式車椅子のタイヤに接触せずに介助ができるという、導入面への利点が大きいと感じられました。

また、ボードの目印に沿って設置することで、自然と移乗しやすい角度に設置できるという工夫は、小さなことかもしれませんが、技術伝達のし易さには大きなポイントであったと思われました。

以上のことから、スライディングボード「つばさ」は、統一したケアを可能にし、職員・入居者様共に快適な移乗動作を行うための一翼を担う可能性を感じられました。

### 「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2020」掲載

厚生労働省(公益財団法人テクノエイド協会)の実施調査結果をまとめられた冊子「福祉用具・介護ロボットの開発と普及2020」に、スライディングボード「つばさ」が掲載されました。

スライディングボードの実物をご覧になりたい方は、医用工学研究室の片本までご相談ください。

# 福祉用具・介護ロボットの 開発と普及 2020

令和3年3月



## 第4章 介護ロボット等モニター調査事業

### 単行番号 02-012 独自形状スライディングボードの 高齢者施設における有用性調査

移乗支援 せき損式スライディングボード「つばさ」

#### 機器の概要

独自の形状で差し込みやすく使いやすい  
車いすとベッド間の移乗用ボード

せき損式スライディングボード「つばさ」は、独立行政法人高齢者健康安全保障「総合せき損センター」で開発された車いすとベッド間の移乗用ボードであり、車いすのタイヤと摩擦を避ける独自の形状により差し込みやすく使いやすい。角は滑らかで、取っ手の穴が座席の動線下にないため安心。ボードの配置を自然に確認できるガイドシールに加えて、ボード背面のQRコードから使い方の動画の録画もでき、移乗技術を習得しやすい。



せき損式スライディングボード「つばさ」Lサイズ

#### モニター調査の概要

2 サイズ 4 台を 3 カ月試用  
従来型ボードと比較調査

せき損式スライディングボード「つばさ」が、高齢者介護における車いすとベッド間の移乗補助において、従来型ボードと遜色なく介護従事者の負担軽減に寄与する調査、検証した。

調査は、モニター調査協力施設にて「つばさ」Mサイズ2台、Lサイズ2台を約3カ月間、高齢介護の現場で使用いただき、調査員への回答をいただくことで調査を実施した。

「つばさ」の使用にあたっては、使用前に「つばさ」専用ホームページにて使い方の動画を見ていただ

いた。ボード背面のQRコードから使い方の動画に撮影アクセス可能。

モニター実施施設とのヒアリングおよび調査データの分析にあたっては、「つばさ」の開発者と使い方の担当の先生方にご協力いただいた。

モニター調査利用対象者は、7除 80歳代2名、90歳以上2名、身長140～147cm、体重33～51kg。

モニター機器4機とも介護用利用であり、2名は自分で座位を保持できない半介助の方であった。

「つばさ」専用ホームページ  
<https://www.tsubasa-bd.com>



調査員がモニター施設にて「つばさ」Mサイズを試用している様子

「つばさ」の使い方の動画をスマートフォンで見ている様子

## 第5章 実用化された福祉用具・介護ロボット

株式会社ジェラートアイランド (旧 株式会社E&I)

### せき損式スライディングボード「つばさ」Lサイズ

移乗支援

型番 TBSL2

TAISコード 01975-00002

問い合わせ先

株式会社ジェラートアイランド (旧 株式会社E&I)  
東京都 千代田区  
〒815-0041 福原市福原山町西野第1-11-31  
クローサ材 5F  
Tel: (092) 556-7035 / Fax: (092) 510-1723  
E-Mail: [uds@gelatoland.com](mailto:uds@gelatoland.com)

販売価格 / 販売開始時期 / 販売地域 / 販売紹介URL

■ 22,000円 (税別)  
■ 令和2年5月  
■ 累計40台  
■ <http://www.tsubasa-bd.com>

#### 機器の特長と仕様

Lサイズは8mmで広く、安定感がある。奇難雑俣者だけでなく高齢者まで、介助利用から自立利用まで安心して車いすとベッド間の移乗に使える。ボードがタイヤに干渉しないため、差し込みが楽。

独自の形状で安定し、車いすのタイヤが邪魔をしない。移動する方向へボードが傾くことがない。介助者がボード中心の穴を握る形状で、握りやすい。角は丸いため手触りが良く、角の滑らかな傾斜によって厚みがあっても差し込みが楽。さらに手元で自然に使用位置を確認できるガイドがあるため、統一したケアを提供しやすいなど、従来型の長方形の短所を大幅に改善した。表面は太で5cmの滑り止め付き。

【サイズ】 幅72×奥行31×厚み0.8cm、1.0kg、ポリエチレン

#### 主な対象者

小さい利用者で、自分自身で立ち上がり移乗のできない方。  
慣れ移乗に慣れている小さい(アームサポートが跳ね上がり、ブレーキが邪魔な位置にないなど)を利用されている方。  
移乗の際にボードや介助者と接触する身体部分に褥瘡などの皮膚トラブルのない方。



「つばさ」Lサイズ

機器の貸し出しについて (貸し出しを希望される方は上記問い合わせ先までご連絡ください)

項目	対応可否	貸出期間	送料	利用条件など
1 イベントや研修会等での一時貸し出し	○	2週間	無料	返却時の送料は利用者負担
2 機器導入を前提とした施設への試用貸し出し	○	2週間	無料	返却時の送料は利用者負担

#### 担当者からのPRコメント

「多くの利用者さまより「つばさ」があることで大きな安心につながるとのお話をいただいております。

#### 移乗支援事業 団体

株式会社ジェラートアイランド (旧 株式会社E&I)  
つばさ編集部  
〒815-0041 福岡県福岡市南区西野第1-11-31  
クローサ材 5F  
Tel: (092) 556-7035  
HP: <https://www.gelatoland.com/>

#### モニター調査協力施設

■ 特別養護老人ホーム 鶴島町山崎

#### モニター調査の結果

##### 移乗動作時の利用者の筋力強化とガイドシールや動画でのケア統一

ADL (日常生活動作)、QOL (生活の質)、介助する方 (介護従事者) の負担軽減について、また、機器の使いやすさとして、抜き差ししやすさ、持ちやすさ、セッティングしやすさ、滑らせやすさ、機器の安定感について、従来型ボードと比較したところ、ほとんどの調査項目において、従来型ボードよりは少し優れているとの評価をいただいた。対象の利用者は、「認知症等により、自ら不安定な状態を直すことができない方であったが、スライディングボード「つばさ」を使用してからは移乗動作時の筋力強化 (特に両足) が確認されている様子が見られた。

また介護者への負担として、「つばさ」専用ホームページの動画を事前に視聴したことで、慣れが同じ手取り作業を行うことができ、ケアの統一が図りやすくなった。また経験スキルのない新人職員も統一した教え方ができ、混乱することなく使いこなせた。



介護現場での「つばさ」

という意見が得られた。

本調査では高齢者施設において、せき損式スライディングボード「つばさ」が安全に簡便に使えるかを調査した。その結果、独自のつばさ形状、使い方のためのガイドシールや動画により、ノーリフティングケアの導入時期に魅力ある製品であることが認められた。このように使いやすいボードは、全体としてのケアの質の向上へと繋がるきっかけとなる可能性や経済的価値を秘めていると思われる。

#### モニター調査協力施設の声

##### 特に負担を感じる移乗介助を減らす

当施設では、職員間の介護負担軽減と業務効率化のために3カ月前に介護職員を対象として「最新に関するアンケート」を実施している。その中で、「移乗介助時に特に負担を感じている」という結果が出た。

今回、モニター調査に参加させていただいた、せき損式スライディングボード「つばさ」は、差し込みやすく抜きやすいことを欠点で感じる形状であり、その形状から自衛車輪子のタイヤに接触せず介助ができるという、導入自体への利点が大変感じられた。

また、ボードの目印に沿って滑らせることで、

自然と移乗しやすい角度に取っ手を取ることができるという工夫は、小さなことかもしれないが、技術伝達しやすさには大きなポイントであったと思われる。

以上のことから、せき損式スライディングボード「つばさ」は、統一したケアを可能にし、職員・入居者共に快適な移乗動作を行うための一翼を担う可能性を感じられた。



施設内での様子

# ～看護週間～

5月12日は看護の日です。看護の日とは21世紀の高齢社会を支えていくためには看護の心、助け合いの心を老若男女問わず国民一人ひとりが分かち合う事が必要であると考えナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。今年は5月9日～5月15日が看護週間です。

毎年、看護の日には全国各地で看護に関するイベントが行われていますが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小してイベントは行われませんでした。



職員の子供さんに募集し「せき損センターで働くお父さん・お母さんの絵」を展示しました。皆さん、上手ですね。



14日の昼食は栄養管理室からの愛情いっぱいの祝膳です。受け持ち看護師からの手作りのメッセージカードを病棟師長が患者さんの元へ届けました。

今年も規模を縮小してのイベントでしたが、患者さんや職員の皆様より喜びの言葉をたくさんいただき感謝しています。

ご協力いただいた職員の皆様、本当にありがとうございました。

来年こそは、新型コロナウイルスが収束し、例年通りの看護週間のイベントが開催できる事を祈っています。

看護の日・患者サービス委員会

患者様へのせき損広報誌『はなみずき』では、患者様からの記事を募集しています。記事の投稿はお気軽に当センター職員までお声かけください。

ご意見・ご要望等ございましたら、ふれあいポストまでお寄せください。